

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	クールルーフ評価小委員会		主 査 名：近藤 靖史 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (都市環境・都市設備運営委員会)		委員長名：加藤 信介 主 査 名：佐土原 聡
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	都市ヒートアイランド対策としての熱的効果が期待できる屋根仕上げについて検討する。高反射率塗料などの屋根材や屋上緑化などを検討対象とする。 ・2005 年度は、建物屋根(必要に応じて外壁などを含む)の環境性能や評価技術についての情報交換を行い、対策技術の適切な選択を促すことを目的とする。 ・2007 年度以降は、日射・気温などの地域性を踏まえた適材適所的な材料に関する情報収集・整理を行う予定である。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 近藤靖史(武蔵工業大学), 足永靖信(建築研究所), 岡本幹太郎(日本設計), 芝池英樹(京都工芸繊維大学), 竹林英樹(神戸大学), 並木裕(大成建設), 成田健一(日本工業大学), 鳴海大典(大阪大学), 西岡真稔(大阪市立大学), 橋田祥子(明治大学), 梅干野晁(東京工業大学), 松尾陽(明治大学), 三坂育正(竹中工務店), 持田灯(東北大学), 森山正和(神戸大学)		
設置 WG (WG 名:目的)	クールルーフ適正利用ガイド WG		
2006 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし、ただし建築雑誌 2005 年 6 月号に、「今伝えたいトピックス クールルーフ」を掲載。
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 都市環境・都市設備公開勉強会 「都市環境・都市設備研究の最前線」 2007 年 3 月予定
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会内の情報交換は効率的になされた。 2. 海外の研究者との情報交換も一部なされた。
委員会活動の問題点 ・課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。

* 環境本委員会傘下の小委員会においては、上記の活動成果報告書に加えて、以下の自己評価を記入すること。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2006 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>1. 委員会での意見交換・情報交換は非常に活発であり、有意義な活動を行っている。 2. ただし、まだ委員会外部への情報発信は十分とはいえないので、評価を B とした</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。